

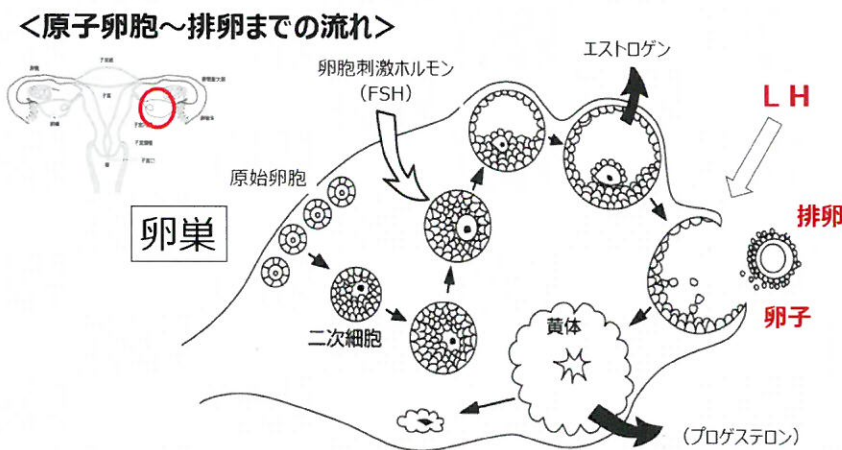
女性の体とピロロキノリンキノン(PQQ)

卵胞成熟のためのエネルギー産生を助けます。

卵胞は細胞が増えて十分大きくなることで成熟卵胞となり、大きく性質が変わってエストロゲンを分泌したり、排卵シグナル(LH)に反応して排卵できるように変わります。

細胞が増えるにはエネルギーが必要ですが、加齢やストレスなどで抗酸化力が衰えると、エネルギー産生の副産物として出る活性酸素により、卵胞が成熟できず閉鎖してしまう原因となります。

PQQは、高い抗酸化力により**卵胞がエネルギーを作り続けることができる**ように働きかけ、卵胞成熟を促し排卵を助ける効果があるといわれています。



加齢などに伴う卵巣の老化(線維化)を抑制します。

卵巣は排卵時に活発に細胞増殖が行われるため、非常に酸化ストレスを受けやすい組織。そのため、**加齢に伴い卵巣は線維化**し、固くなって卵胞に栄養や酸素を届けることができなくなっていずれは閉経に至ります。

PQQは、卵巣の組織や血管の線維化を抑制する効果があるため、卵胞成熟・排卵環境を整え、**月経サイクルを整える**働きがあるといわれています。

注目の成分

ピロロキノリンキノンニナトリウム塩 (PQQ-Na₂)

PQQは、ビタミン様物質と言われており、ヒト体内にも存在(母乳中など)。

納豆、豆腐、緑茶、ピーマンなど、様々な食品に含まれており、細胞の老化(酸化)を抑える働きにより、認知・記憶力改善作用、睡眠改善作用、肌の水分量改善作用などからだに良いはたらきがあることも分かっています。

